

# 歳入確保の努力はまちづくりの上で重要な視点

**歳入**  
(町の収入)

**質 疑**



町内経済の活性化策は

## ニチロサンパック撤退の影響は

**議員** 法人町民税が前年度より4社が減り、それにニチロサンパックが撤退する。水道料などの影響はどうか。

**当局** ニチロサンパックの影響は法人町民税、町内従業員の方の町民税、所得税で影響がある。施設の固定資産税は課題になる。水道を利用した食品加工工業であり、水道料金で2千万円の影響が見込まれる。

## 固定資産税の減免措置は

**議員** 固定資産税の特例で、1級河川における河川の用を呈しているところは減免措置はあるのか。

**当局** 固定資産は登記され所有者がはつきりして1月1日現在で課税非課税を決める。登記関係が調整中で、非課税申請があれば県で対応するということ。

## ソフト小村の

### 入居予定はあるのか

**議員** 商工使用料でソフト小村全6棟、12ヶ月を当初で見込ま

れている。使用していない棟がある現実で、4月から入居が見込まれているのか。条例改正案もでていなく4月から入居の見込みも低い。歳入は見込まれる確実な金額で計上すべきでないか。

**当局** 予算における歳入は堅実な歳入を確保し、計上するのが基本。棟数が決まっているものは当初で満額上げるようにして、減額補正するやり方をしてきた。努力をしないで現実にあわせることの議論もしているが、見通しのないものを上げたのご指摘もある。緊張を確保し、予算の堅実性、信頼性で対応する。

## 滞納繰越の計上方法は

**議員** 予算計上で歳入確保の努力は重要な視点、町民税の滞納繰越の予算計上の考え方は。また町の収納率の経緯はどうか。

**当局** 滞納の計算は前年度の残っている滞納額に対し収納率をかけ、難易度をさらにかけて計上している。町税全体での収納率は19年度11%から21年度13%へ伸びている。

## 平成23年度一般会計収入予算一覧

歳入(町の収入)	予 算 額
町 税	10億9,912万円
地 方 交 付 税	36億8,000万円
国 庫 支 出 金	5億 530万円
県 支 出 金	6億 112万円
分担金・使用料等	1億5,901万円
町 債 (借入金)	6億1,050万円
そ の 他	5億1,995万円
合 計	71億7,500万円

※万円未満は端数を整理しています。

